

①

升六句碑

文政8年（1825）9月3日 建立
 「建立者」不二亭祇山、白珂 ほか
 「題字・書」不明

【石碑に彫刻されている文字】

（前面）

居ならふや正月したる小田の雁
 升六

（裏面）

社中
 白更 二勝 圃月
 良白 竹雨 智丸
 如泉 瓦忝 葛居
 布川 峨嵐 米苔
 一粟 由季 忝坡

（側面）

維峇文政八乙酉年九月三日

（側面）

浪華翁堂開祖門祇山白珂建之

【解説】

合浦公園内に設置されている石碑の中では最も古い石碑で、文政8年（1826）に建てられたものです。

石碑に記されている「升六」は、黄華庵升六（こうかあんしょうろく）（生年不明〜1813）で江戸後期の俳人として知られています。

升六は、大阪の人で、勝見二柳に学び、松尾芭蕉風の句を詠んだとされており、この石碑は、升六の弟子である祇山、白珂、その他数多くの人たちによって建てられたものと考えられています。

碑に刻まれた文字の中には、今では使われなくなった俗字や古字が記されています。

碑文中の「鴈」は「雁」の草書体で、「忝」は「松」の俗字で、「風」は「風」の古字、「蒼」は「花」の俗字、「峇」は「時」の古字で書かれています。

